

びるめん ニュース あいち

vol.348

2018 / 4



一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会

Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報・会員増強委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

今月の視点

「愛知県としての貯水槽水道の 管理水準の向上について」

愛知県健康福祉部保健医療局生活衛生課長 増野 裕英

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、日頃から、建築物における衛生的環境の確保により、県民の環境衛生の向上に御貢献いただいているところですが、建築物の管理における重要な項目の一つに飲料水の管理が挙げられます。

ビル・マンションのような建築物においては、多くの場合、市町村等の水道事業者から給水される水道水を一旦受水槽に貯めてから建築物内に給水する水道施設である貯水槽水道が設置されています。

水道法では、水道事業者が水質の責任を負う範囲を、配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する蛇口から出る水までとしています。つまり、水道事業者は、直結式給水では蛇口まで、貯水槽水道では受水槽に入る前までの水質の責任を負っています。したがって、受水槽に入った後の水質の責任は貯水槽水道の設置者が負わなければならないこととなります。そのため、貯水槽水道の設置者には、受水槽の定期的な清掃や水質の管理など、適切な衛生管理が強く求められています。

貯水槽水道には、受水槽の有効容量が10m³を超える簡易専用水道と、10m³以下の小規模貯水槽水道があります。簡易専用水道については、水道法により1年以内ごとに1回の受水槽の清掃、登録検査機関の検査を受けること等が義務づけられています。

県内に設置された簡易専用水道の法定検査受検率(79.5%)は、全国平均(78.4%)並みではありますが、決して

高いものとは言えず、また、その数倍の施設がある小規模貯水槽水道は、点検・検査等の法定義務がないため、検査受検率(1.7%)は極めて低いのが現状です。

このような中、貯水槽水道の維持管理指導については、市の区域内に設置された施設は各市が、町村の区域内に設置された施設はその町村を所管する県保健所が指導しているところ

です。本県においては、水道法で規制されない小規模貯水槽水道も含めて、「建築物における給水施設の維持管理要領」を定めて適切な維持管理を指導するとともに、管内の貯水槽水道の設置や検査の実施状況の把握などに取り組んでいます。

なお、特定建築物(名古屋市及び中核市内の施設を除く。)については、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき定期的を実施している立入検査において、設置されている貯水槽水道の適切な管理を指導しています。

貯水槽水道の衛生管理については、貯水槽水道の設置者及び管理者が、自らの管理意識を高め、自発的に管理水準の向上に取り組むことが大変重要です。そのためは、行政による指導だけでなく、行政以外の関係者の方々との連携が不可欠と考えています。

愛知ビルメンテナンス協会会員の皆様方におかれましては、貯水槽清掃等の機会に併せて、その管理についても助言していただくなど、設置者及び管理者の管理意識の向上に御協力くださいますようお願い申し上げます。



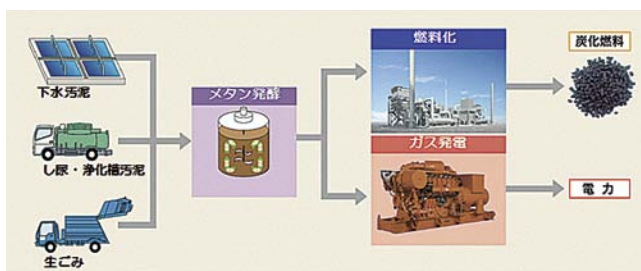
「ごみゼロ社会推進あいち県民会議の 「先進事例視察会」



平成30年2月22日(木)にごみゼロ社会推進あいち県民会議の活動のひとつとして、豊橋市にあるバイオマス活用センターの先進事例視察会が行われました。

「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」は、住民、事業者、行政が相互に連携しながら、一体となつてごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用の促進を図ることを目的に設立され、各種団体、県内市町村の協力を得ながら、環境への負荷の少ない、資源循環型社会の構築を目指している県民会議です。

今回視察したこのセンターは全国でも珍しく、これまで別々に処理されていた下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを集約してメタン発酵処理し、そこから発生したバイオガスを燃料として発電するとともに、メタン発酵後に残った汚泥を炭化燃料に加工するなど、完全エネルギー化を実現する、国内最大規模の複合バイオマスエネルギー化施設です。



昨年の10月から稼働しており、ごみステーションで発生する生ごみからの臭いなどへの対処や、生ごみの中に紙類が混入しているとメタン発酵に悪影響を及ぼしてしまうので

紙ごみを入れないよう周知するなど対策を重ね、現在では市民の協力により改善されているよう



です。この処理により取り出されたバイオガス発電のエネルギーは、年間680万kWhの電力を発電しております。これは、一般家庭換算で約1,890世帯分の電力に相当し、この処理により20年間で約120億円のコスト削減が見込まれているようです。見学中は生ごみの異臭を感じることなく、周辺住民に対する工夫も感じられました。

新入会員あいさつ

株式会社スリーC

代表者・登録者:代表取締役社長 近藤 鉄次

所在地:〒465-8611

名古屋市名東区猪高町上社字井堀25-1

この度は、貴協会への入会を承認いただきまして、誠に有難うございます。

弊社は、平成18年に、名古屋市名東区に創立しました。創造のC、協同のC、挑戦のCで3つのCを大事にと会社名をスリーCとし、「まごころと協同の力で、地域に安全、安心、快適な暮らしの創造を」めざしています。

主な事業は、警備業、清掃業、人材派遣業、小売業、飲食業など幅広く事業を展開しております。「社員ひとりひとりみんながって、みんな輝く」人間尊重の職場づくりを大事に、お客様の身近なパートナーとなれるよう、努力しております。

平成30年春に、清掃・警備事業を一本立ちさせ、より地域に貢献するため、子会社「株式会社スリーキーパー」(代表取締役玉川達也)を設立します。社会や地域で必要とされるビルメンテナンス業をめざしていくため、貴協会でも、業界のさまざまな情報、技術、先進的活動を勉強させていただきたいと思っております。

加入させていただいたばかりで、恐縮ではございますが、近く会員名義を子会社「スリーキーパー」に変更いたします。小さな会社でございますが、貴協会に入会と同時に新会社をスタートとし、心も新たに精進いたします。今度ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



■名北・尾北 労働災害防止大会

平成30年3月5日(月)に小牧勤労センターにおいて名北・尾北労働災害防止大会が開催されました。この大会は、当協会が後援を務めており、毎年この時期に開催されております。

津島労働基準監督署長の祖父江 孝治様のあいさつに始まり、安全講話として名古屋北労働基準監督署 安全衛生課 衛生専門官の村田 亘様により「理論的な安全衛生管理について」と題して、これまでの「目立つ危険にだけ目を向け、なくせない危険から目をそらす」災害防止ではなく、災害発生プロセスに沿った「災害の検証」および「対策の検討」が必要であるとし、なぜ災害発生に至ったかを理論的に考えると、災害の本質が明らかになると示しておりました。(安全衛生を科学的に論理的に考えていただくための特集コーナーは愛知労働局のホームページに掲載されております。)

特別講演では、平松朗務事務所所長 社会保険労務士の平松和子様により『「期待と関心」望まれる仕事の在り方』をテーマに、人間関係を交えた仕事の在り方について講演を聴講した後、「労働災害防止につながる生産性の向上の取組みについて」パネルディスカッションが行われ、労働災害を少しでも減らすための方策について、事例を交え熱心に語られました。



■わが社のプロフェッショナル

<キレイ、快適空間づくりのプロフェッショナル>

豊興株式会社 土井亜美(つぐみ)

現場清掃クルーの経験を生かし、現在は社員として現場巡回、クルーへの技術指導や相談、そして、お客様の御要望やお困りごとを聞きながら、キレイな快適空間づくりに励んでいます。今年、建築物環境衛生管理技術者資格にも挑戦します。

大切にしていることは、お客様と笑顔でコミュニケーションすること。

そして自分が学んだ技術をお客様やチームメイトのために伝え、キレイを追求し、問題を解決することに仕事のやりがいやワクワク感を感じています。

また、設置型の口臭対策マウスウォッシュ機の販売及び維持メンテナンスも行い、お客様のため、キレイ、快適空間づくりのプロフェッショナルとして活躍しています。



■職業自立支援推進運営委員会

平成30年3月16日(金)名古屋市役所の西庁舎にて「平成29年度第2回職業自立推進運営委員会」が名古屋市教育委員会 学校教育指導部の主催により開催されました。この委員会は、愛知県経営者協会・名古屋商工会議所・愛知ビルメンテナンス協会・国立特別支援教育総合研究所など14の関係機関との連携強化により、名古屋市立特別支援学校の生徒さんへの就労支援策など職業教育の充実を目指すことを目的に設立されております。

11月の第1回に続く今回の第2回委員会では、守山養護学校 高等部産業科の取り組みと就労状況などについて報告されました。



この産業科では就労に向けての具体的な目標として「社会の中で人とふれあい、自ら学び成長できる生徒」、「働く喜びを味わいながら、職業人として成長できる生徒」

の二つを掲げ進路指導に繋げており、さらに、1年生には「いろいろな仕事を知ろう」…見て聞いて学び、職業観・勤労観を広げ、2年生では「仕事をしてみよう」…会見から学び、PDCAサイクルで自分を高め、3年生には「働けるようになろう」…職場で発揮できる力を身に付けることを進路指導年間指導計画に掲げ指導されております。

委員会の中では、本人の長所や興味・関心事などや働く上でのサポート事項を記した「サポートシート・サポートブック」の改善すべき点や、定着支援・進路指導の状況、今後の職業教育の在り方などについて報告をもとに意見交換が成されました。

委員として参加した吉田副会長からは、就労支援に向けて次のような発言がありました。

①人手不足の時代の中で、多くの企業が障がい者雇用を考えている。現在では受け入れ企業は増えてきており、宣伝をしっかりと行い、企業とのマッチングを検討し工夫すれば、より良い環境に就職させることができ、そのことが定着につながると思っている。



②企業では現場の人が指導を行うので、就労を考えている人の長所や、行動・考え方の特性および配慮事項などは、短い文章でセンテンスをまとめた情報をいただきたい。

お心当たりがございましたら、ぜひご紹介ください。

愛知ビルメンテナンス協会 会員増強キャンペーン

普通会员の入会金が...

通常入会金 ¥200,000円 **15万円ディスカウント**

お申込み期間 平成29年10月1日～平成30年5月31日

◇入会審査書類も簡素化を図り、さらに入会しやすくなりました。

※上記期間中に当協会「普通会员」に入会された方が対象です。

※別途:会費月額17,000円、全国協会の入会金50,000円及び会費月額10,000円が必要となります。

期間延長になりました
5月末まで割引

会員の動き

平成30年4月1日現在会員数
普通会员 125社 賛助会員 20社

普通会员

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
H30.3	㈱スリーC	普通会员入会	代表者・登録者:代表取締役社長 近藤鉄次 所在地: 〒465-8611 名古屋市長久高町上社字井塚25-1 TEL:052-703-1451 FAX:052-703-1864

賛助会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
H30.4	㈱ユーホーニイタカ	代表者	新代表取締役社長 橋本 茂 旧代表取締役社長 相川 保史

平成29年度 労働安全衛生優秀作品

標語

「慣れるほど
増える手抜に迫る事故
基本を守る安全作業」

コニックス㈱ 林 友弘さんの作品

平成30年5月の予定

阜月

30日(水) 理事会・定時総会

理事会・各種委員会

◆第8回 災害支援検討特別委員会

開催日時 平成30年3月7日(水) 午後1時30分～3時

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 福岡副委員長始め4名の出席を得て以下について協議

- ・組織体制について
- ・災害支援清掃資機材について
- ・災害支援に向けた訓練の実施について
- ・マニュアルの作成について
- ・建物設備管理委員会からの「BCPの作成講習会」の開催について

◆第11回 広報・会員増強委員会

開催日時 平成30年3月20日(火) 午前10時～10時30分

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 酒井委員長始め1名の出席を得て以下について協議
・びるめんニュースあいちの編集について

- ・びるめんニュースあいちの新企画について
- ・会員増強策の広報活動について

◆第12回 理事会

開催日時 平成30年3月20日(火) 午後1時30分～3時

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 加藤会長始め13名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項 新年度事業計画・予算案について
報告事項(委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告)

◆第1回 品質向上特別委員会第三者委員会

開催日時 平成30年3月26日(月) 午後1時30分～3時

開催場所 協会事務局 会議室

水藤委員長始め11名の出席を得て以下について協議
・本事業、現状解説、今後の予定について

賛助会コーナー

地球にやさしく 汚れに強い洗浄水
バブルウォーターPRO

ウルトラファインバブル・強アルカリイオン電解水

- キッチン
 - カーペット
 - 床
 - テーブル
 - イス
 - ガラス
- あらゆる場所に対応
化学物質一切なし
二度ふき、すすぎ不要



“キレイ”のアドバイザー

株式会社 **リブライト**
バブルウォーターPRO 検索

〒466-0021 愛知県名古屋市長久高町2-2-4
TEL 052-732-8151 FAX 052-732-8150

事務局だより

新年度を迎え、新しい制服に包まれ、初々しく輝いている小学1年生が、元気いっぱい、笑顔いっぱいで小さな体に大きなランドセルを背負い、歩いているのを目にします。この4月号から「わが社のプロフェッショナル」という「人」にコンセプトを置いた新しいコーナーを設けました。それぞれの事業所で働いておられる「人」には、仕事の経験値が蓄積されています。その“知”や“技”(ワザ)“を磨き上げた「プロフェッショナル」が多くの作業場で「品質」を守り、お客様の満足を得ていると思います。この「知・技」を持っている「プロフェッショナル」を紹介することで様々な人に繋がってゆき、それぞれの企業文化に付加することのできる「人」が育まれていけばと思います。